

検証③

■目的

見通しが良い場所、河川での通信距離を確認

■場所

多摩川河川敷

■検証装置

親機:uM350R

子機:Silex BR-100AH



■測定方法

子機を起点にAPを100mずつ離していき、各距離における上り下りの通信速度(ピーク)、電界強度、MCSを測定。パケットはiperfより送受信。

■結果

500m疎通出来ることを確認。

■考察と今後の活用について

IEEE802.11ahの特性である通信距離が長いことを確認することができた。

よって、円状中心点半径500m内の見通しがいい農畜産物の広大な敷地に設置されたセンサ類のデータ収集に活用できる可能性がある。